

2021年8月2日

東急不動産株式会社

タイ・バンコク中心部での複合開発 「ワンパヤタイププロジェクト」開発に参画 ～当社初のタイ・バンコクでの事業～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志、以下「当社」）は、現地子会社である TOKYU LAND ASIA Pte.Ltd.（本社：シンガポール、社長：池田秀竜、以下「TLA」）を通じて、タイ・バンコク市内中心部にて現地大手上場不動産デベロッパーである Origin Property Public Company Limited（本社：タイ王国、代表者：ピラポンジャルーンエク CEO）及びその 100%子会社である One Origin Company Limited（本社：タイ王国、代表者：ピティポントリヌルク CEO、以下両社を「オリジン社」）が開発を進めるホテルを中心とした複合開発事業に参画することになりましたのでお知らせいたします。これまで当社が事業を行ってきたインドネシアや中国以外の ASEAN 諸国への事業展開は 2019 年の TLA 社設立以降、同社を通じて進めてきており、当社の海外事業において初めてのタイ事業への参画となります。



上、左) 完成予想図 (外観)



■ 空港線始発駅にホテルを主用途とした複合開発計画

本物件は、タイバンコク中心部とスワンナプーム国際空港をつなぐ空港線の始発駅及び市内主要交通機関であるバンコクスカイトレインのパヤタイ駅から約 200m に位置する、ホテルを主要用途とした複合開発です。ホテル計 412 室のほか、オフィスと商業部分を含む計画です。ホテルの運営は IHG グループの「HOTEL INDIGO」と「HOLIDAYINN EXPRESS」による運営を予定しています。

現在タイにおいても、新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、政府による水際対策も実施されていますが、その効果による、将来的な観光大国タイとしてのホテル需要を含む中長期的な観光需要の回復等を見込み、今回の事業参画の決定にいたしました。

■ 戦略的事業パートナーに現地のオリジン社

オリジン社は、将来的には REIT の組成や、その REIT に組み込む想定のアセット開発を発表するなど、循環型再投資モデルでのさらなる成長を企図しています。アジア事業において、これまで主に実施してきたコンドミニウム事業だけでなく、非分譲住宅アセット事業への参画も積み上げたいと考えている当社の戦略に合致していると考えております。また、オリジン社は、ホテル・オフィスなどの都市型非分譲事業だけでなく、物流や再生可能エネルギーなどのインフラ事業への展開も発表しております。

当社は今年度、組織再編をし、海外事業本部と物流・再生エネルギー事業を担うインフラ・インダストリー事業本部とで構成する「戦略事業ユニット」を立ち上げました。オリジン社は、当社がシナジーを活かしながら海外事業展開を実施できる長期戦略パートナーとなりうると考えています。

オリジン社とも今後の同社が手掛ける幅広い事業領域への事業参画を戦略的パートナーシップとして協議していく事に合意しており、オリジン社の将来プロジェクトへの参画を通じて当社のタイ事業拡大を目指していきます。

■ ワンパヤタイプロジェクト概要

名 称	ワンパヤタイプロジェクト
敷 地 面 積	約 2, 8 0 0 m ²
延 床 面 積	約 2 6, 8 2 1. 3 m ² (予定)
部 屋 数	4 1 2 室(INDIGO 2 1 0 室・HOLIDAY INN EXPRESS 2 0 2 室)
建 物 計 画	ホテル、オフィス、商業
着 工	2 0 2 1 年 9 月 (予定)
竣 工 ・ 引 渡	2 0 2 3 年 9 月 (予定)



■プロジェクト位置図



■ 東急不動産のアジア事業

当社の海外事業は、1973年のグアムでの宅地造成とパラオでの調査開始を皮切りにスタートしました。インドネシアへは1975年に進出し、戸建て開発を中心に事業拡大。2012年に現地法人を設立しました。その後、2005年に中国事業に着手、2010年に米国事業に着手と、事業拡大してまいりました。こういった事業展開の中で得た海外事業経験や信用と実績を基礎に、未進出 ASEAN 諸国への事業展開を行うべく2019年にシンガポール現地法人(TOKYU LAND ASIA Pte.LTd 社)を設立し、インドネシア・中国を除く東南アジア諸国への事業展開を進めております。



■ 長期ビジョンで取り組むテーマと、貢献する SDGs

東急不動産ホールディングスグループは、2021年「長期ビジョン 2030」において「WE ARE GREEN」をスローガンに、価値を創造し続ける企業グループを目指し、グループの強みを活かして、誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来をつくることを宣言しました。その実現のために、6つの取り組みテーマ（マテリアリティ）を定め、それに基づく4つの重点戦略を掲げています。これらの取り組みは、2015年に国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献すると考えます。

本リリースにおける取り組みテーマ（マテリアリティ）及びSDGsは以下の通りです。

《本リリースにおける取り組みテーマ(マテリアリティ)》



多彩な
ライフスタイルをつくる

ライフスタイル



ウェルビーイングな
街と暮らしをつくる

街と暮らし

《貢献する SDGs》



11
住み続けられる
まちづくりを

東急不動産ホールディングスグループ 「長期ビジョン 2030」 について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

